

ご報告:バヌアツ共和国(バヌアツ空港公社) 消防車寄贈事業

平成28年度在斐ジー日本国大使館(バヌアツ国兼轄)「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、バヌアツ共和国バヌアツ空港公社(以下AVL)へ成田国際空港株式会社より無償譲渡いただいた空港用大型化学消防車を寄贈しました。

現地到着後2018年2月、寄贈車両のメーカーである、株式会社モリタテクノスより技術者1名を派遣いただき、安全な運用と保守管理に関する技術指導を行いました。

<現地写真>

1	<p><基本操作></p> <p>取扱い方法を指導する株式会社モリタテクノス 高野聰氏（手前左）</p> <p>参加した 17 名の消防士達は互いに協力しながら精力的に取り組み、短期間で操作方法を習得した。</p>	
2	<p><基本操作></p> <p>車内スイッチによる放水操作を確認</p> <p>航空機火災における迅速な操作のため、簡単な手順で運用できる仕組みになっているが、各チームで何度も練習を行った。</p>	

3	<p><基本操作></p> <p>空港から市街地へ移動、川での吸水・放水操作</p> <p>現地では空港以外での有事にも出動を想定しており、自然水利を活用した訓練を行った。</p> <p>道路状態は一部悪く、慎重な運転技術が必要となる。</p>	
4	<p><メンテナンス></p> <p>メカニック達へ車両構造・点検項目の説明、意見交換</p> <p>A V L 職員に加え、民間整備工場のボーディウム社からも参加し、車両の構造や配線図の読み取りについて説明した。</p> <p>ボーディウム社はA V L 専属で点検整備を受託しており、必要な専門知識を十分に持ち合わせている。</p>	
5	<p><メンテナンス></p> <p>車両構造を実際に確認するメカニック達</p> <p>既にA V L が保有しているフランス製の消防車と類似する部分があるため、主な部品の位置関係を確認した。</p>	

6	<p><お披露目会></p> <p>2月9日 消防署前にて研修の成果を披露</p> <p>AVL ジェイソン・ラカウCEOや役員らが立ち会う中、スムーズに放水訓練を成功させた消防士達へ大きな拍手が送られた。</p>	
7	<p><お披露目会></p> <p>ラカウCEOから感謝樹を受け取るモリタテクノス高野氏</p> <p>ラカウCEOは「日本の皆様から頂いたご支援に心から感謝します」と述べた。</p>	
8	<p><お披露目会></p> <p>研修関係者一同で記念撮影</p> <p>前列左より 4番目一般社団法人日本外交協会 森田千博、ラカウCEO、高野氏。</p> <p>前列右端、トロイ・カルソン バヌアツ空港消防救助隊マネージャーが研修全体の調整をしてくれた。</p>	